

第9号議案 令和2年度長崎市一般会計予算

目次

1	救急業務費	1～2ページ
2	通信指令費	3～4ページ
3	【補助】消防車両等整備事業費 消防ポンプ自動車整備ほか	5～6ページ
4	【単独】消防車両等整備事業費 消防ポンプ自動車整備ほか	7～9ページ
5	【単独】消防機器整備事業費 総合消防情報システム更新	11～14ページ
6	【単独】消防施設整備事業費 消防出張所建設	15～17ページ
7	【単独】消防施設整備事業費 消防団格納庫建設ほか	19～20ページ
8	【単独】消防施設整備事業費 消防団格納庫改修	21～22ページ
9	【単独】消防施設整備事業費 防火水槽整備ほか	23～24ページ

消 防 局

令和2年2月

予 算 説 明 書					事 業 名	予 算 額
ページ	款	項	目	番号		
264～ 267	9 消防費	1 消防費	1 常備消防費	3-4	救急業務費	千円 18,231

1 概 要

救急業務に必要な消耗品等の購入及び救急活動に関する各種業務委託や広報・啓発活動を行うもの。

2 事業内容

項目	金額
AEDパッド、心電図電極、感染防護衣等の購入	12,148千円
救急廃棄物処理業務委託、救急救命士気管挿管病院実習に関する委託等	2,228千円
救急車適正利用ポスター、啓発チラシ等の印刷	1,400千円
救急管轄外出動等旅費	700千円
その他(救急救命士賠償責任保険料、救急資機材用バッグ等購入)	655千円
【拡大分】救命サポートエコバッグの購入	1,100千円
合計	18,231千円

3 【拡大分】救命サポートエコバッグの購入

救命率の向上を図るため、市民の身近なツールとして、簡単な心肺蘇生の手順をプリントした「救命サポートエコバッグ」を作製し、救命講習会や環境部と連携して各種イベントの際に配布する。

(1) 救命サポートエコバッグ購入費

1,100千円(@550円×2,000個)

(2) 配布先及び配布数

配布先	配布数
救命講習受講者	500個
婦人防火クラブ員	500個
イベント参加者(エコライフ・フェスタ、エコカフェ等)	1,000個
合計	2,000個

4 財源内訳

事業費	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他※	一般財源
千円 18,231	千円 —	千円 —	千円 —	千円 5,426	千円 12,805

※ 消防事務委託負担金 3,082千円

高速自動車道支弁金 2,344千円

5 救命サポートエコバッグ(案)



6 救命サポートエコバッグ使用イメージ



予 算 説 明 書					事 業 名	予 算 額
ページ	款	項	目	番号		
264～ 267	9 消防費	1 消防費	1 常備消防費	3-6	通信指令費	千円 114,733

1 概 要

119番通報受信、出動指令及び情報管理を行うための総合消防情報システムの安定運用を図るとともに、業務に必要な通信設備等を維持管理するもの。

2 事業内容

項目	金額
総合消防情報システム・消防救急デジタル無線保守委託	61,481千円
電話回線・専用回線・インターネット回線・システム通信回線使用料	27,461千円
事務用パソコン購入・借上	17,256千円
多言語通訳委託	209千円
その他(電話設備賃借、消防無線局定期検査、消耗品購入等)	8,197千円
【拡大分】多言語音声翻訳アプリ「救急ボイストラ」の導入	129千円
合計	114,733千円

3 【拡大分】多言語音声翻訳アプリ「救急ボイストラ」の導入

外国人傷病者が発生した救急現場において迅速、的確な救急活動を行うため、多言語翻訳アプリ「救急ボイストラ」をインストールしたタブレット端末1台を中央消防署に配置する。

(1) 事業費

129千円

(2) 対応言語

15言語(英語・中国語(簡体字)・中国語(繁体字)・韓国語・タイ語・フランス語・スペイン語・インドネシア語・ベトナム語・ミャンマー語・ロシア語・マレー語・ドイツ語・ネパール語・ポルトガル語)

4 財源内訳

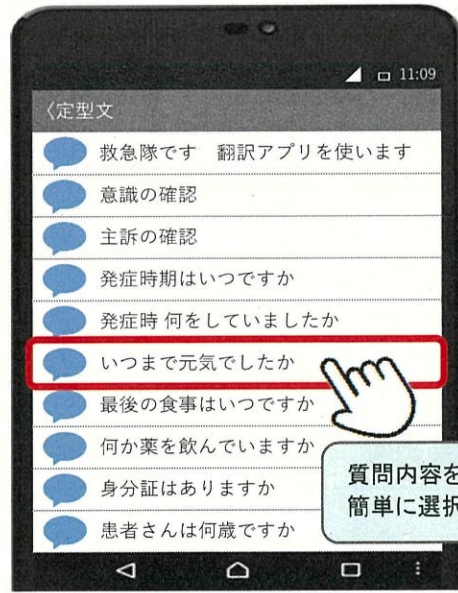
事業費	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他※	一般財源
千円 114,733	千円 -	千円 -	千円 -	千円 20,186	千円 94,547

※ 消防事務委託負担金

5 救急ボイストラの画面イメージ

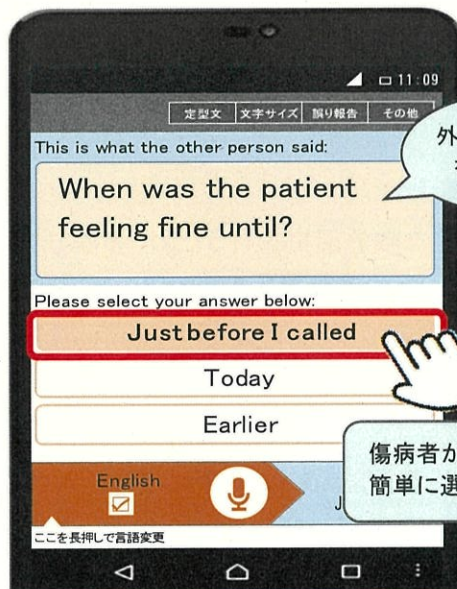


① 言語選択



② 定型文選択

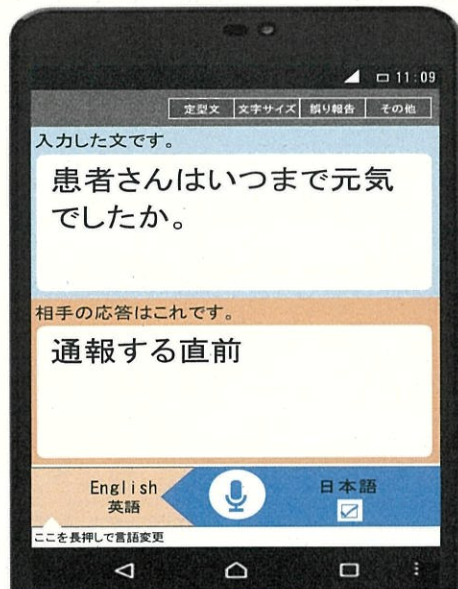
質問内容を簡単に選択可能



外国語の質問を音声発話

傷病者が回答を簡単に選択

③ 音声発話・画面表示、傷病者回答



④ 質問・回答の日本語表示

予 算 説 明 書					事 業 名	予 算 額
ページ	款	項	目	番号		
266～ 269	9 消防費	1 消防費	3 消防施設費	2-1	【補助】消防車両等整備事業費 消防ポンプ自動車整備ほか	千円 66,500

1 概 要

現在配置している老朽化した消防車両及び機器を代替更新するもの。

2 事業内容

事 項 名	数量	配 置 場 所 等	経過年数	事 業 費
消防ポンプ自動車	1台	北消防署琴海出張所	19年	32,000千円
高規格救急自動車	1台	北消防署	7年	31,000千円
		高度救命処置用資機材 ・ 気道確保用資機材一式 ・ 自動体外式除細動器(AED) ・ 心電計 等		
本部指揮車	1台	消防局	21年	3,500千円
合計				66,500千円

3 財源内訳

事 業 費	財 源 内 訳				
	国庫支出金※1	県支出金※2	地方債※3	その他	一般財源
千円 66,500	千円 22,319	千円 3,370	千円 36,100	千円 —	千円 4,711

※1 国庫補助率 基準額(44,638千円)の1/2

※2 県補助率 【限度額(12,852千円)－その他(9,482千円)】の100%

※3 一般補助施設整備等事業債 充当率90%(交付税措置率－%)

一般単独事業債 充当率90%(交付税措置率－%)

4 消防車両等の形状(現在配置されている車両をモデルとして掲示)

(1) 消防ポンプ自動車



(2) 高規格救急自動車



(3) 本部指揮車



予 算 説 明 書					事 業 名	予 算 額
ページ	款	項	目	番号		
266～ 269	9 消防費	1 消防費	3 消防施設費	3-1	【単独】消防車両等整備事業費 消防ポンプ自動車整備ほか	千円 66,400

1 概 要

現在配置している老朽化した消防車両及び機器を代替更新するもの。

2 事業内容

事 項 名	数量	配 置 場 所 等	経過年数	事 業 費
消防ポンプ自動車	2台	第3分団(川平町) 第14分団(浪の平町)	19年 24年	35,000千円
小型動力ポンプ付 積載車	6台	【普通積載車】 第46分団4部(伊王島町2丁目)	24年	5,000千円
		【軽積載車】 第25分団2部(柿泊町) 第28分団4部(平間町) 第29分団1部(松原町) 第31分団2部(宿町) 第34分団4部(宮摺町)	23年 23年 23年 23年 24年	13,500千円
小型動力ポンプ	6台	第30分団4部(戸石町) 第31分団2部(宿町) 第31分団5部(潮見町) 第32分団1部(飯香浦町) 第32分団2部(太田尾町) 第46分団4部(伊王島町2丁目)	20年 19年 22年 22年 21年 24年	10,200千円
空気呼吸器	2基	中央消防署	15年	1,700千円
自動体外式除細動器 (AED)	2器	中央消防署	8年	1,000千円
合計				66,400千円

3 財源内訳

事 業 費	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債※	その他	一般財源
千円 66,400	千円 —	千円 —	千円 62,800	千円 —	千円 3,600

※ 緊急防災・減災事業債 充当率100%(交付税措置率70%)

施設整備事業債 充当率5.5/10(交付税措置率70%)

4 消防車両等の形状(現在配置されている車両及び機械器具をモデルとして掲示)

(1) 消防ポンプ自動車



(2) 小型動力ポンプ付積載車

【普通積載車】



【軽積載車】



(3) 小型動力ポンプ



(4) 空気呼吸器



(5) 自動体外式除細動器(AED)



予 算 説 明 書					事 業 名	予 算 額
ページ	款	項	目	番号		
266～ 269	9 消防費	1 消防費	3 消防施設費	4-1	【単独】消防機器整備事業費 総合消防情報システム更新	千円 561,800

1 概 要

平成19年3月から運用している総合消防情報システムについて、機器類の経年によるシステム障害を回避し安定運用を図るため、現行システムと同等機能のシステムを現在と同じ場所に再構築するもの。

2 事業内容

年 度	内 容	事 業 費
平成30年度	実施設計	13,415千円
令和元年度	システム再構築工事	372,422千円
令和2年度		561,800千円
—	小計	934,222千円
令和3年度	運用開始	—
—	合計	947,637千円

3 財源内訳

事 業 費	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債※1	その他※2	一般財源
千円 561,800	千円 —	千円 —	千円 533,700	千円 24,295	千円 3,805

※1 旧合併特例事業債 充当率95%(交付税措置率70%)

※2 消防事務委託負担金

4 工事スケジュール(予定)

内容	月別	令和元年度				令和2年度													
		9月	10月	11月	～	～	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
議会承認・本契約		●																	
機器設計・製造			→																
配線作業・据付工事						→													
機器試験・操作訓練												→							
回線・システム切替え																	●		
既設機器撤去																	→		
機器移設(本設置)																	→		
システム運用						→ 現行システム運用												→ 新システム仮運用	→ 本運用

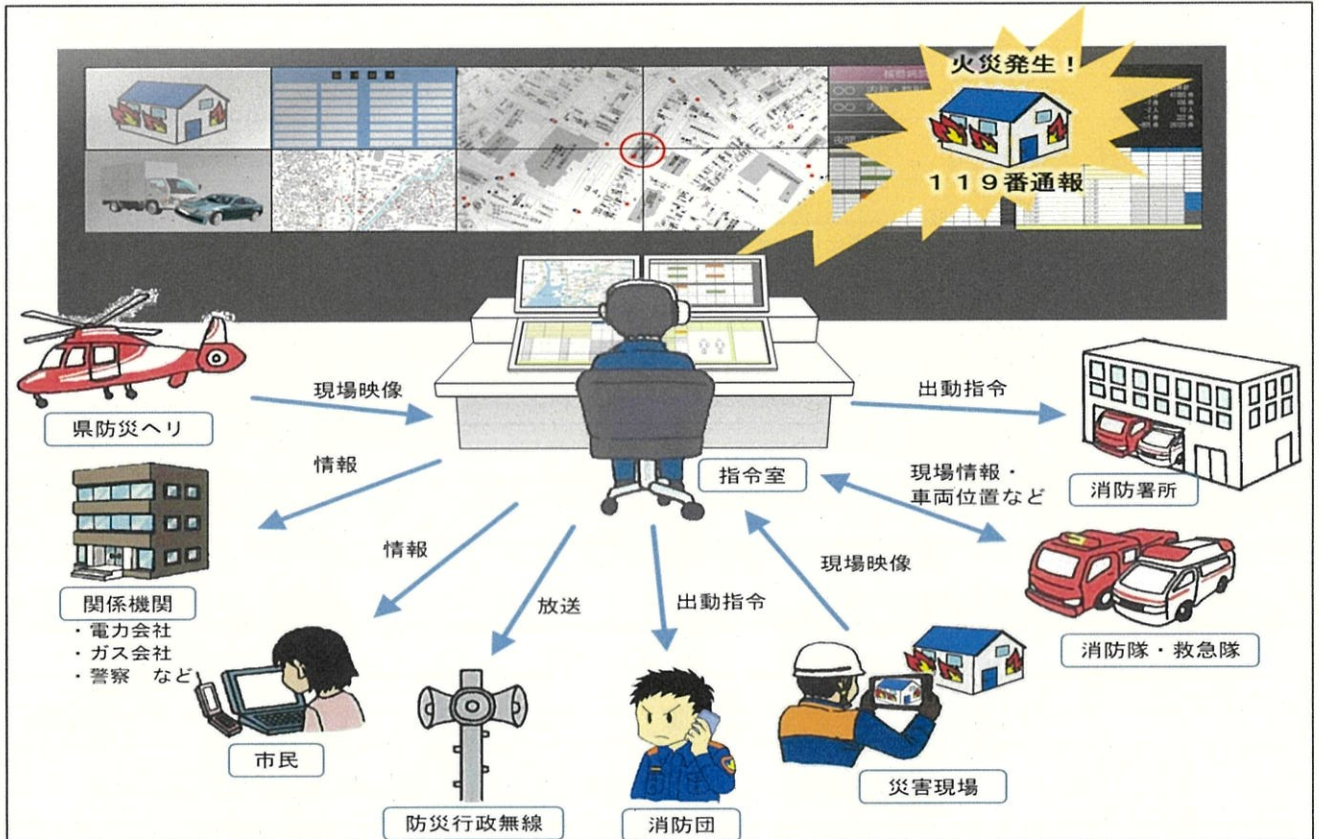
5 総合消防情報システムの概要

次の3つのシステムを相互に連携することにより、災害時において効果的な情報管理と迅速な部隊運用を行うとともに、効率的な業務運営を支援するもの。

(1) 高機能消防指令管制システム

119番通報の受付、出動指令、部隊運用、災害現場への情報支援等の一連の指令管制業務を行うためのシステム。119番通報の発信位置情報通知、GPSを用いた消防・救急車両の動態管理、出動隊の自動編成機能等を活用することにより、迅速かつ的確な災害対応が可能となる。

[イメージ図]



(2) 消防情報支援システム

警防業務、予防業務、届出業務等の情報を一元管理し、消防・救急活動時に有効な情報として活用することを主眼としたシステム。活動時に登録されたデータを基にした報告書作成、統計業務のほか、通常業務を支援し、効率的な業務運営が可能となる。

(3) 防災情報システム

市災害対策本部、総合事務所災害対策本部及び各部局において迅速な災害対応を行うために、必要な情報を共有化して防災活動の支援を行うほか、避難所情報の管理や職員参集の通知等を行うためのシステム。

6 システム構成

高機能消防指令管制システム	消防情報支援システム	防災情報システム
(1) 指令台 (2) 自動出動指定装置 (3) 地図等検索装置 (4) 指令制御装置 (5) 署所端末装置 (6) 表示盤 (7) 順次指令装置 (8) 車両運用管理装置 (9) 位置情報通知装置 (10) 現場映像伝送装置 (11) 防災行政無線連動装置 (12) NET119・FAX119・メール119受信装置	(1) 警防業務管理 ア 災害・救急事案管理 イ 消防水利管理 (2) 予防業務管理 ア 防火対象物管理 イ 危険物施設管理 ウ 訓練指導・講習会管理 (3) 届出業務管理 道路・停水・火煙情報 (4) 車両・資機材管理	(1) 災害受付管理 (2) 活動状況管理 (3) 避難所管理 (4) 防災情報提供 (5) 職員参集一斉通知 (6) 統計管理 (7) 基礎情報管理

7 新たに導入する機能

(1) NET119緊急通報システム

会話に不自由な聴覚・言語機能障害者が、スマートフォン等を用いて音声によらない緊急通報を行うことができるシステム。

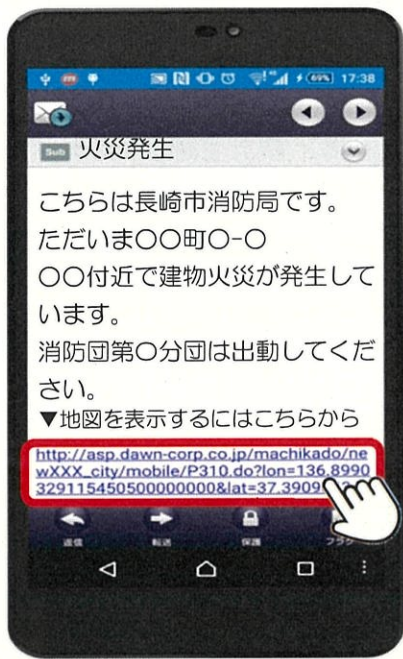
[スマートフォン画面のイメージ]



(2) 消防団への地図機能付きメールによる順次指令

災害発生時の消防団への出動指令について、災害現場地図のURLが添付されたメールを送信。

[メール画面のイメージ]



① メール受信・URL 選択



② 災害点の地図を表示

予 算 説 明 書					事 業 名	予 算 額
ページ	款	項	目	番号		
266～ 269	9 消防費	1 消防費	3 消防施設費	5-1	【単独】消防施設整備事業費 消防出張所建設	千円 15,000

1 概 要

消防防災の拠点となる消防庁舎の充実を図るため、消防出張所を整備するもの。

2 事業内容

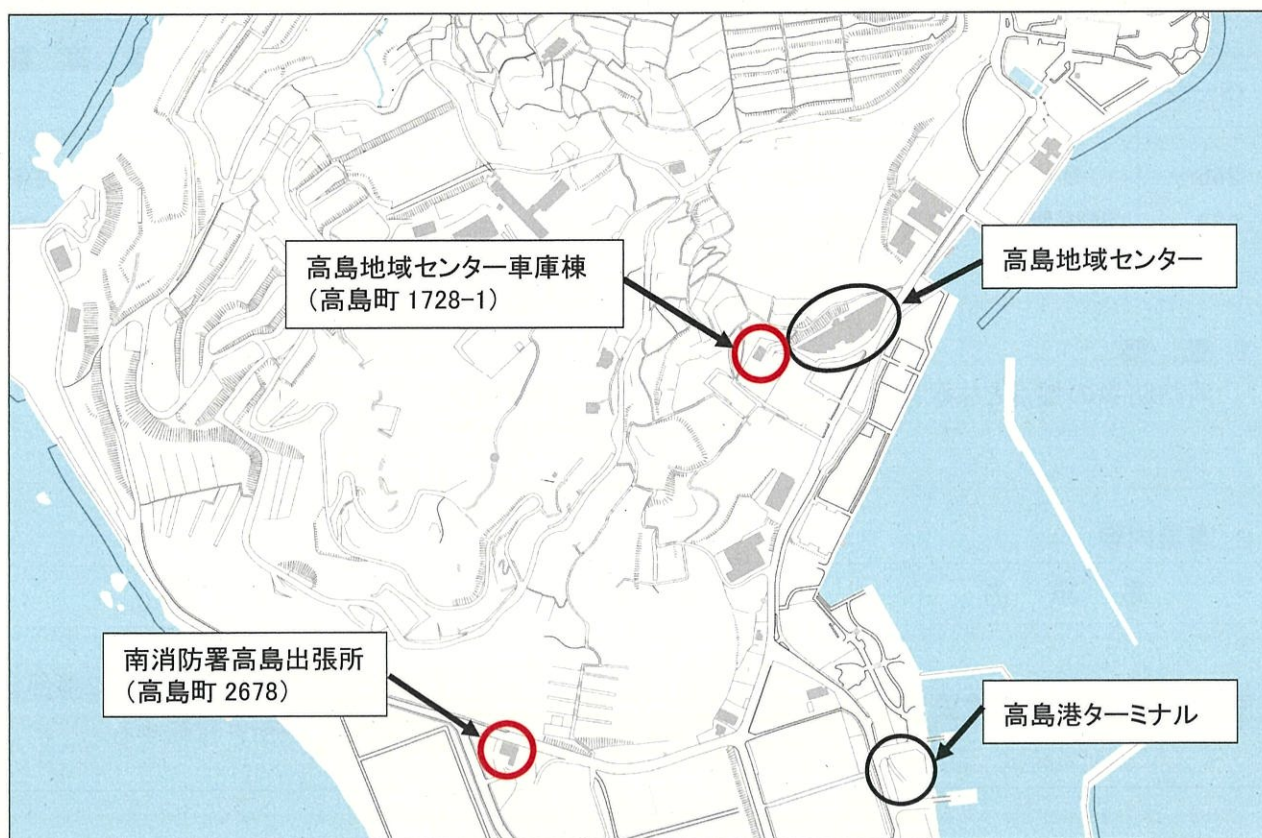
事 項 名	場 所	内 容
南消防署高島出張所建設	高島町1728-1 (高島地域センター車庫棟)	高島地域センター車庫棟の2階部分を改修し出張所を移転する。

3 財源内訳

事 業 費	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債※	その他	一般財源
千円 15,000	千円 —	千円 —	千円 14,200	千円 —	千円 800

※ 旧合併特例事業債 充当率95%(交付税措置率70%)

4 位置図



5 既存施設の現状

名 称	建築年(経過年)	構 造 等
南消防署高島出張所	昭和50年4月(44年)	鉄骨造平屋建て(172.5m ²)
高島地域センター車庫棟	平成9年9月(22年)	鉄骨造2階建て(518.23m ² ※)

※ 518.23m²のうち、約164m²を南消防署高島出張所として使用予定。

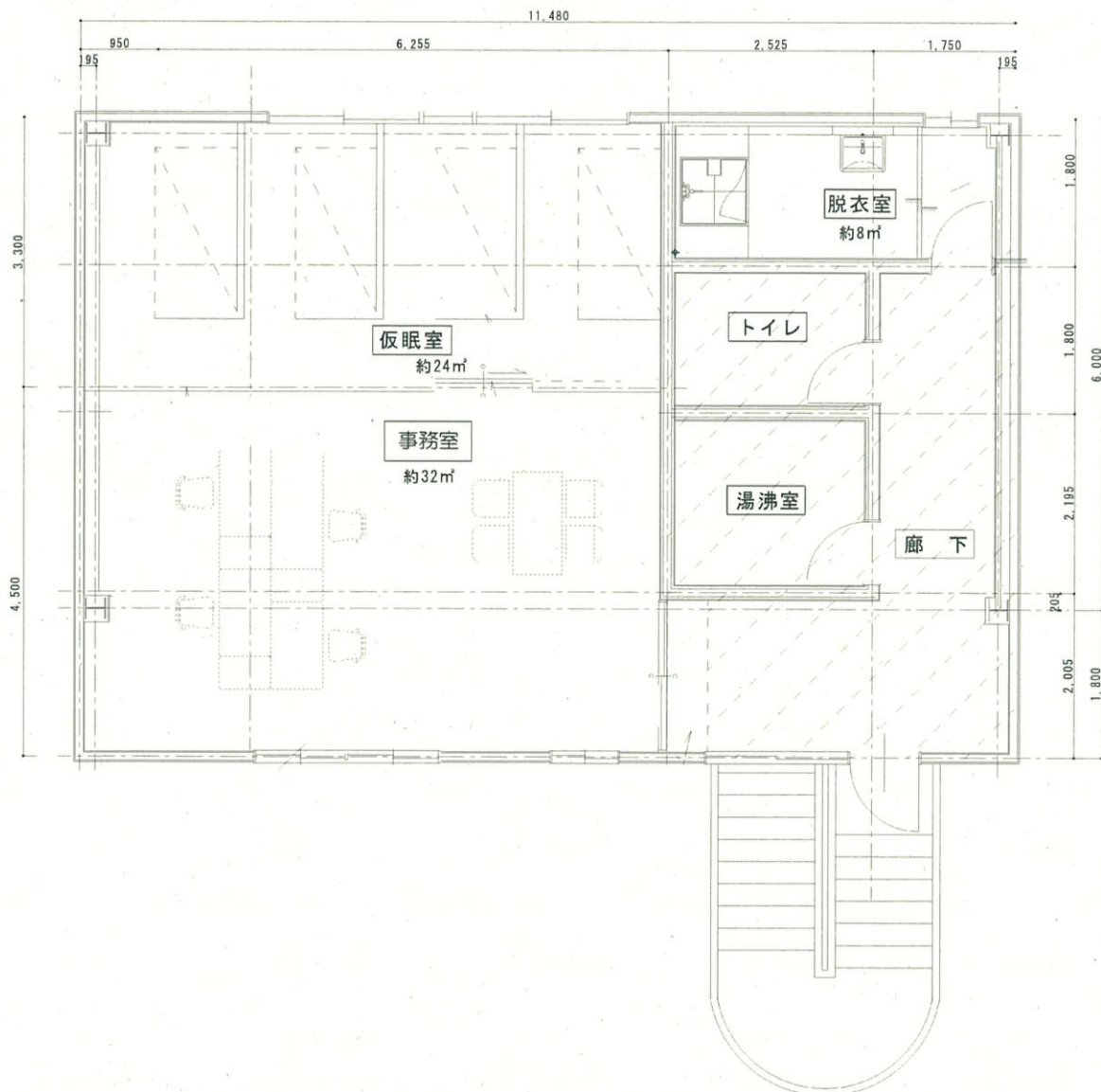
【南消防署高島出張所 現状写真】



【高島地域センター車庫棟 現状写真】



6 平面図(高島地域センター車庫棟2階 改修予定図)



予 算 説 明 書					事 業 名	予 算 額
ページ	款	項	目	番号		
266～ 269	9 消防費	1 消防費	3 消防施設費	5-2	【単独】消防施設整備事業費 消防団格納庫建設ほか	千円 25,000

1 概 要

地域防災の拠点となる消防団格納庫の充実を図るため、老朽化した格納庫を整備するもの。

2 事業内容

事 項 名	場 所	構造等
消防団格納庫建設(第28分団4部)	平間町1809-1	木造平屋建て 約50㎡

3 財源内訳

事 業 費	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債※	その他	一般財源
千円 25,000	千円 -	千円 -	千円 21,800	千円 -	千円 3,200

※ 施設整備事業債 充当率5/10(交付税措置率70%)

防災対策事業債 充当率75%(交付税措置率30%)

4 格納庫建設予定位置図



5 既存格納庫の現状

名 称	建築年(経過年)	構造等
消防団第28分団4部	昭和54年3月(41年)	木造平屋建て(38.88㎡)

【既存格納庫 現状写真】



予 算 説 明 書					事 業 名	予 算 額
ページ	款	項	目	番号		
266～ 269	9 消防費	1 消防費	3 消防施設費	5-4	【単独】消防施設整備事業費 消防団格納庫改修	千円 17,000

1 概 要

地域防災の拠点となる消防団格納庫の充実を図るため、老朽化した格納庫を改修するもの。

2 事業内容

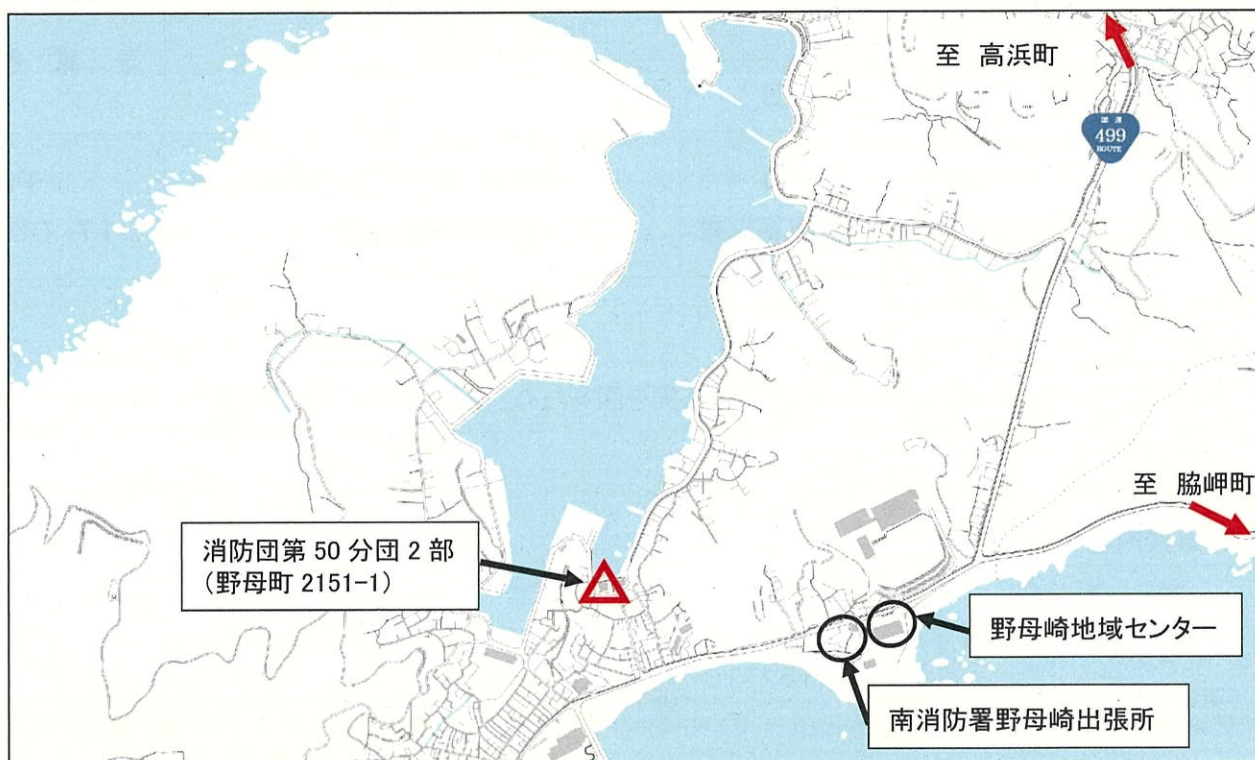
事 項 名	場 所	構 造 等	建築年(経過年)	改修内容
消防団格納庫改修 (第50分団2部)	野母町2151-1	鉄骨造2階建 延150㎡	昭和57年3月 (38年)	外壁、屋上防水 内装、建具等

3 財源内訳

事 業 費	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債※	その他	一般財源
千円 17,000	千円 —	千円 —	千円 12,700	千円 —	千円 4,300

※ 防災対策事業債 充当率75%(交付税措置率30%)

4 位置図



5 既存格納庫 現状写真



予 算 説 明 書					事 業 名	予 算 額
ページ	款	項	目	番号		
266～ 269	9 消防費	1 消防費	3 消防施設費	5-5	【単独】消防施設整備事業費 防火水槽整備ほか	千円 10,300

1 概 要

火災対応を迅速に行うため、消防水利が希薄な地域への防火水槽の設置及び補水機能を有しない既設防火水槽に給水装置を整備するもの。

2 事業内容

事 項 名	場 所	事業費
防火水槽20t級 1基(給水装置付)	平間町1809-1	9,000千円
防火水槽給水装置 2箇所	松崎町、永田町	1,300千円
合計		10,300千円

3 消防水利の現況

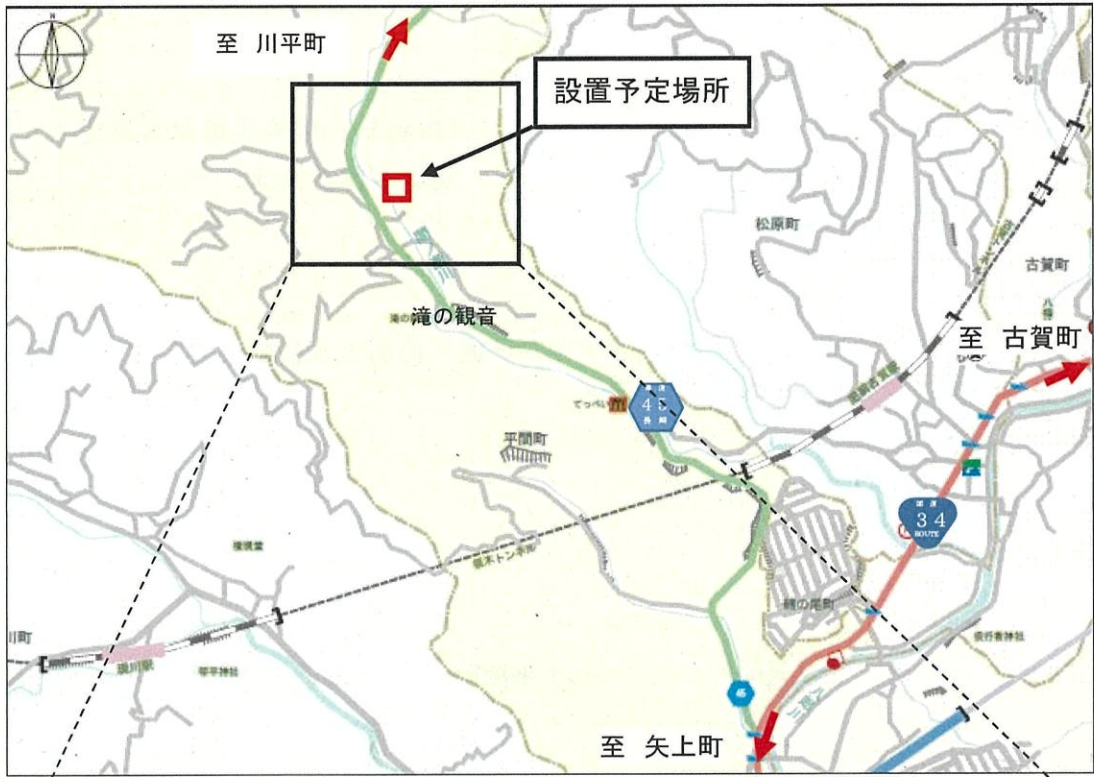
種 別	公 設	私 設	合 計
消 火 栓	3,893基	256基	4,149基
防 火 水 槽	1,302基	200基	1,502基
その他の水利(プール等)	—	—	168箇所

4 財源内訳

事 業 費	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債※	その他	一般財源
千円 10,300	千円 —	千円 —	千円 10,300	千円 —	千円 —

※ 緊急防災・減災事業債 充当率100%(交付税措置率70%)

5 防火水槽設置予定位置図



〈詳細図〉

